

科目名	政治・経済			担当教員	井上 斌		
学年	全学科・3年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	07G03 20030		
学習目標	政治の基本原理として、民主政治について理解し、日本国憲法の基本的人権、統治機構を学ぶ。さらに、国際政治のしくみを理解する。経済については、市場経済、金融・財政政策、国民所得と経済成長、景気循環などについて理解し、国際経済についても、貿易、国際収支などについて学ぶ。そして、現代日本と国際社会がもつ課題について理解する。						
進め方	教科書を中心に講義形式で進める。必要などころは資料集を参照する。政経は特に毎日の新聞、テレビのニュースなどを資料とすることが出来るので、日頃からニュースに関心を持つよう心掛ける。またインターネットの検索は情報を得る上で、非常に大切なので時々実際に行ってみる。国際的視野から身のまわりの生活についてまで、幅広い視野を持つことを目的として進める。						
履修要件							
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1.民主政治の構造（2） 2.民主政治の基本原則（2） 3.大日本帝国憲法（2） 4.日本国憲法の基本原則（2） 5.基本的人権の保障（2） 6.新しい人権（2） 7.情報化社会と人権（2）			民主政治及び各国の政治制度について理解する A 1:3			
	8.前期中間試験（1）						
	9.国会のしくみと役割（2） 10.内閣のしくみと役割（2） 11.裁判所のしくみと役割（2）			日本国憲法の統治機構について理解する A 3:4			
	12.政治と政党（2） 13.選挙制度のしくみ（2）			現代日本の政治について理解する A 1:3			
	14.国際社会と国際法（2） 15.国際政治の展開（2）			国際政治について理解する A 1:3			
	16.前期末試験（1）						
	17.試験問題の解答、家計・企業・政府のはたらき（2） 18.市場経済のしくみ（2） 19.金融・財政のしくみとはたらき（2） 20.国民所得と経済成長（2） 21.景気循環のしくみ（2） 22.貿易と国際収支（2） 23.国際経済の展開（2）			ミクロ経済学について理解する A 3:1			
	24.後期中間試験（1）						
	25.情報化の進展と市民社会（2） 26.消費者問題と消費者保護（2） 27.公害防止と環境保全（2） 28.労使関係と労働市場（2） 29.人種・民族問題（2） 30.国際経済格差の是正と国際協力（2） 31.国際社会における日本の役割（2）			現代日本の政治・経済についての諸問題を理解する A 1:2, A 1:3, A 1:4, A 3:1, A 3:3, A 3:4			
	32.学年末試験（1）						
評価方法	定期試験、授業中の態度などを総合的に評価する。						
関連科目	歴史、地理、倫社など他の社会の科目						
教材	教科書：香川勝俊編「教養の政治学・経済学」 学術図書出版社 資料集：田中生夫他編「新編資料 高校政・経 2006」 令文社						
備考							

